

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和8年度川辺川周辺環境調査検討等業務
業 務 概 要	計画準備 1式 環境巡視及び結果等とりまとめ等 1式 環境保全措置等におけるモニタリング調査 1式 各種の環境保全措置等の検討・実施状況のとりまとめ 1式 委員会運営補助 1式 報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長 栗原 太郎 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3317
契 約 年 月 日	令和 8年 4月17日
契 約 業 者 名	令和8年度川辺川周辺環境調査検討等業務水源地環境センター・いであ・建設
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町2-14-2 麴町NKビル
契 約 金 額	41,998,000円(税込み)
予 定 価 格	41,998,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙理由書のとおり
業 務 場 所	川辺川ダム砂防事務所管内外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 8年 4月18日
履 行 期 間 (至)	令和 9年 3月31日
備 考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和8年度川辺川周辺環境調査検討等業務
2. 履行場所 川辺川ダム砂防事務所管内外
3. 契約の相手方 住 所：東京都千代田区麹町 2-14-2 麹町NKビル
会社名：令和8年度川辺川周辺環境調査検討等業務水源地環境センター・いであ・建設技術研究所・建設環境研究所設計共同体
電 話：03-3263-9945
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、川辺川の流水型ダム事業区域周辺の自然環境の巡視・調査を行い、川辺川の流水型ダム事業の進捗に対応した環境保全対策を推進するために、工事による影響を確認し、必要に応じて対応策等の追加検討を行うものである。また、川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策アドバイザリー会議で整理している「川辺川の流水型ダムにおける今後のモニタリング調査計画(案)」に基づき、モニタリング調査を行うとともに環境保全措置等のとりまとめ等を行うものである。業務は、川辺川周辺の環境調査として、魚類、底生動物、両生類、カワネズミ、ニホンイシガメ等のモニタリングを行うものである。

2) 業務の内容

計画準備	1式
環境巡視及び結果等とりまとめ等	1式
環境保全措置等におけるモニタリング調査	1式
各種の環境保全措置等の検討・実施状況のとりまとめ	1式
委員会運営補助	1式
報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「川辺川の流水型ダムの事業実施区域内において、環境巡視を行う際の留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、行程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「業務手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、及び評価テーマの「川辺川の流水型ダムの事業実施区域内において、環境巡視を行う際の留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川辺川ダム砂防事務所 調査設計課長